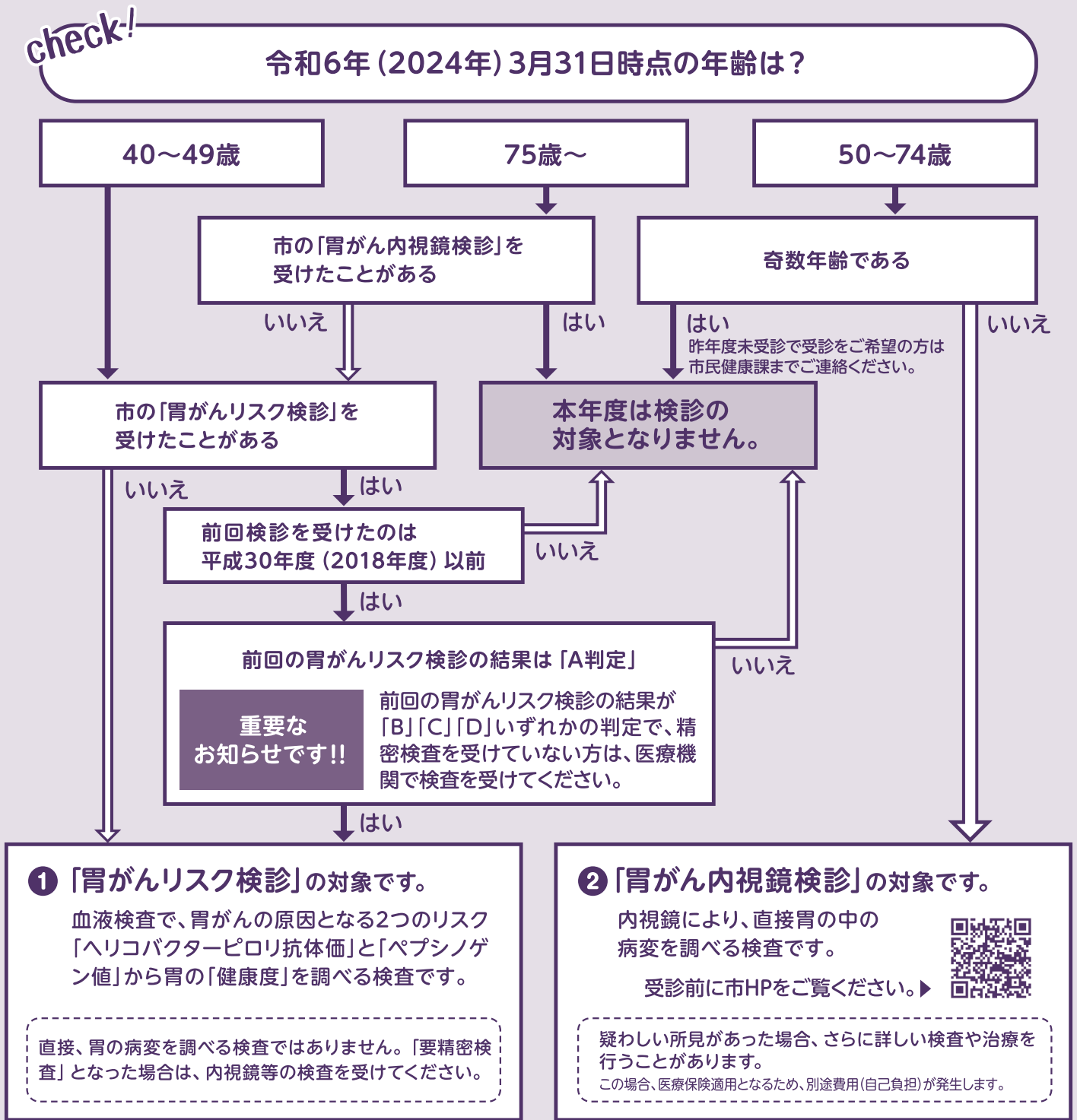


胃がん検診は、年齢によって検診方法が異なります フローチャートでご確認ください。

令和4年度から、胃がん内視鏡検診の対象を74歳まで拡大しました。ぜひこの機会に受診をご検討ください。



【注意事項】胃がんリスク検診を受ける方は事前に医療機関で検診の必要性を確認してください。

- これまでに、食道・胃・十二指腸の病気(ピロリ菌除菌を含む)で、治療を受けたことがある方
- 定期的に内視鏡検査などの胃の検査を受けている方
- 胃の手術をしたことがある方
- その他、治療中の病気がある方

★ 胃がんリスク検診は、ヘリコバクターピロリ菌の感染の有無と胃内壁の状況から、胃がんにかかる「リスク」を推測する血液検査です。(1)原則的に「一生に一回」で良いとされています。(2)これまでに市の胃がん内視鏡検診または胃がんリスク検診の精密検査を受けた方は、直接胃の内壁の状況を確認されています。このため、胃がんリスク検診で改めてリスクを推測する必要はないことから、胃がんリスク検診は対象外となります。

